



利平茶屋森林公園

標高1000m、黒保根町から赤城山へ至る鳥居峠の登山口に位置する利平茶屋森林公園。「利平茶屋」の名は、昭和初期頃までこの地で小林利平という人物が茶屋を営んでいたことに因むとされる。

当地では昭和32年、東武鉄道による赤城山の観光開発で、桐生側から当地までのバス路線整備に加え利平茶屋駅から鳥居峠上の赤城山頂駅間を結ぶケーブルカー「赤城山鋼索鉄道」が開業。当地は乗継ぎ地点を担ったが、早々に自家用車の普及や南面側のアクセス整備が進み、鋼索鉄道は利用者が激減。開業から僅か10年余りの昭和42年11月に運行を休止し、翌年には廃止となった。

その面影は路盤跡などで偲ぶのみだが、自然豊かな環境を活かし昭和60年から2年の歳月をかけキャンプ場としての整備を図り、公営の森林公園が誕生した。

令和5年4月からは、桐生市仲町でアウトドアと旅のコンセプトショップ「Purveyors」(パーヴェイヤーズ)を営む(株)Perk(小林宏明代

人気のサウナや川遊びが楽しめる清流も魅力！
緑深い木立に囲まれた風光明媚なキャンプ場



【利平茶屋森林公園キャンプ場】

- 住所／桐生市黒保根町下田沢1900-1
- 電話／0277-96-2588
- 営業時間(管理棟)／10:00～17:00
予約状況に応じて変更となる場合有
- 定休日／月・火・水曜日
- HP／<https://www.rihei-jaya.com/>
- @riheijaya

表)が指定管理者となりリニューアル。日帰りのバーベキューにバンガローや自設テントでの宿泊など、キャンプ初心者から上級者まであらゆるニーズに応えるプランを備える。テントサウナやサウナトラックを楽しむことができるプランも人気で、鳥居川の清流が隣接するロケーションとともに注目を集める。管理棟には「Purveyors」ショップを併設。同社が手掛けるクラフトビール「FARCRY BREWING」(ファークライ・ブルーイング)も提供し、好評を博している。

溢れる自然のなか、若者が集う音楽フェスなども企画し新たな賑わいを創出。往年の「ターミナル」、利平茶屋に再び脚光が当たる。